

事前評価に関する書面

2026 年 6 月 8 日

氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名
東京都港区赤坂 2-5-1 S-GATE 赤坂山王 9F

申請者

株式会社 リブ・マックス
代表取締役 有山 憲

1	工場又は事業場の名称及び所在地	リブマックスリゾート三原温泉シフト 広島県三原市須波ハイツアー丁目1-15	
2	許可申請の概要	別紙1のとおり	
3	工場又は事業場の排水口の位置及び数 (施行規則第4条第1項第1号)	排水口の位置	別図1のとおり
		排水口の数	3か所
4	排水口周辺の公共用水域について定められている水質汚濁に係る環境基準その他水質汚濁に係る環境保全上の目標に関する事項 (同第2号)	別紙2のとおり	
5	各排水口における排出水の汚染状態の通常値及び最大の値並びに当該排出水の1日当たりの通常量及び最大量 (同第4号)	別紙3のとおり	
6	周辺公共用水域の水質の現況その他当該水域の現況に関する事項 (同第3号)	別紙4, 別紙5, 別図2のとおり	
	排出水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の程度及び範囲並びにその予測の方法 (同第5号)		
7	その他当該特定施設の設置又は構造等の変更が環境に及ぼす影響についての事前評価に関して参考となるべき事項 (同第6号)		

別図2として、周辺公共用水域の範囲、測定点の場所が分かる図面を添付し、周辺公共用水域の決定の根拠も記載すること。

許可申請書の概要

(1) 特定施設設置(変更)の理由及び内容

66の3イ ちゅう房施設(ミニキッチン) 10基を廃止、
 66の3ロ 洗濯施設 3基を新設、
 66の3ハ 入浴施設 個室浴槽 25基のうち9基廃止し、個室浴槽(ひのき)4基を新設、
 ユニットバス 46基を廃止し、46基を新設(型式変更)、
 以上を変更します。

(2) 排水処理施設の設置, 変更等の内容

変更なし。

(3) 排水口における排出水の汚染状態及び量が減少する場合はその理由
 (変更がない場合も含む。)

排出水量及び負荷量の増減なし。

項目	最大排出水量	通常水質	最大負荷量
	(m ³ /日)	(mg/L)	(kg/日)
COD	291.7	12	3.50
T-N		12	3.50
T-P		1.5	0.44

別紙 2

排水口周辺の公共用水域について定められている水質汚濁に係る環境基準
 その他水質汚濁に係る環境保全上の目標に関する事項

(1) 人の健康の保護に関する環境基準

項目	基準値	項目	基準値
カドミウム	0.003 mg/L以下	1,1,2-トリクロロエタン	0.006 mg/L以下
全シアン	検出されないこと。	トリクロロエチレン	0.01 mg/L以下
鉛	0.01 mg/L以下	テトラクロロエチレン	0.01 mg/L以下
六価クロム	0.02 mg/L以下	1,3-ジクロロプロペン	0.002 mg/L以下
砒素	0.01 mg/L以下	チウラム	0.006 mg/L以下
総水銀	0.0005 mg/L以下	シマジン	0.003 mg/L以下
アルキル水銀	検出されないこと。	チオベンカルブ	0.02 mg/L以下
P C B	検出されないこと。	ベンゼン	0.01 mg/L以下
ジクロロメタン	0.02 mg/L以下	セレン	0.01 mg/L以下
四塩化炭素	0.002 mg/L以下	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10 mg/L以下
1,2-ジクロロエタン	0.004 mg/L以下	ふっ素（海域除く）	0.8 mg/L以下
1,1-ジクロロエチレン	0.1 mg/L以下	ほう素（海域除く）	1 mg/L以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg/L以下	1,4-ジオキサン	0.05 mg/L以下
1,1,1-トリクロロエタン	1 mg/L以下		

(2) 生活環境の保全に関する環境基準

排出先の河川の水域名, 海域名		燧灘北西部
類型		A II
基準値	水素イオン濃度 (pH) (水素指数)	7.8~8.3
	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	—
	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	2 以下
	浮遊物質量 (SS) (mg/L)	—
	溶存酸素量 (DO) (mg/L)	7.5 以上
	大腸菌数 (CFU/100mL)	20 以下
	n-ヘキサン抽出物質 (油分等) (mg/L)	検出されないこと
	全窒素 (mg/L)	0.3 以下
	全燐 (mg/L)	0.03 以下

排出先の類型が2以上となる場合は、欄を追加すること。

(3) その他の水質汚濁に係る環境保全上の目標

ア ダイオキシン類対策特別措置法に基づく環境基準

媒体	基準値
ダイオキシン類 (水底の底質を除く。)	1 pg-TEQ/L以下

イ その他

別紙3

各排水口における排出水の汚染状態の通常値及び最大値
並びに当該排出水の1日当たりの通常量及び最大量

[変更なし]

排水口名		総合排水口		No.2排水口(雨水)		No.3排水口(雨水)		総合円中心排水口	
項目	区分	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	排出水量 (m ³ /日)		161.0	291.7	0	0	0	0	
排出水の汚染状態	pH (水素指数)	5.8~8.6	5.8~8.6						
	BOD (mg/L)	8	26						
	COD (mg/L)	12	31						
	SS (mg/L)	15	36						
	全窒素 (mg/L)	12	31						
	全燐 (mg/L)	1.5	5.5						
	大腸菌数 (CFU/ml)	800以下	800						
	F (mg/L)	5	15						
	B (mg/L)	5	230						
COD負荷量 (kg/日)		3.50		0.0		0.0		—	
窒素負荷量 (kg/日)		3.50		0.0		0.0		—	
燐負荷量 (kg/日)		0.44		0.0		0.0		—	

負荷量は排水口ごとに

通常汚染状態 (mg/L) × 最大排水量 (m³/日) × 10⁻³ で計算する。

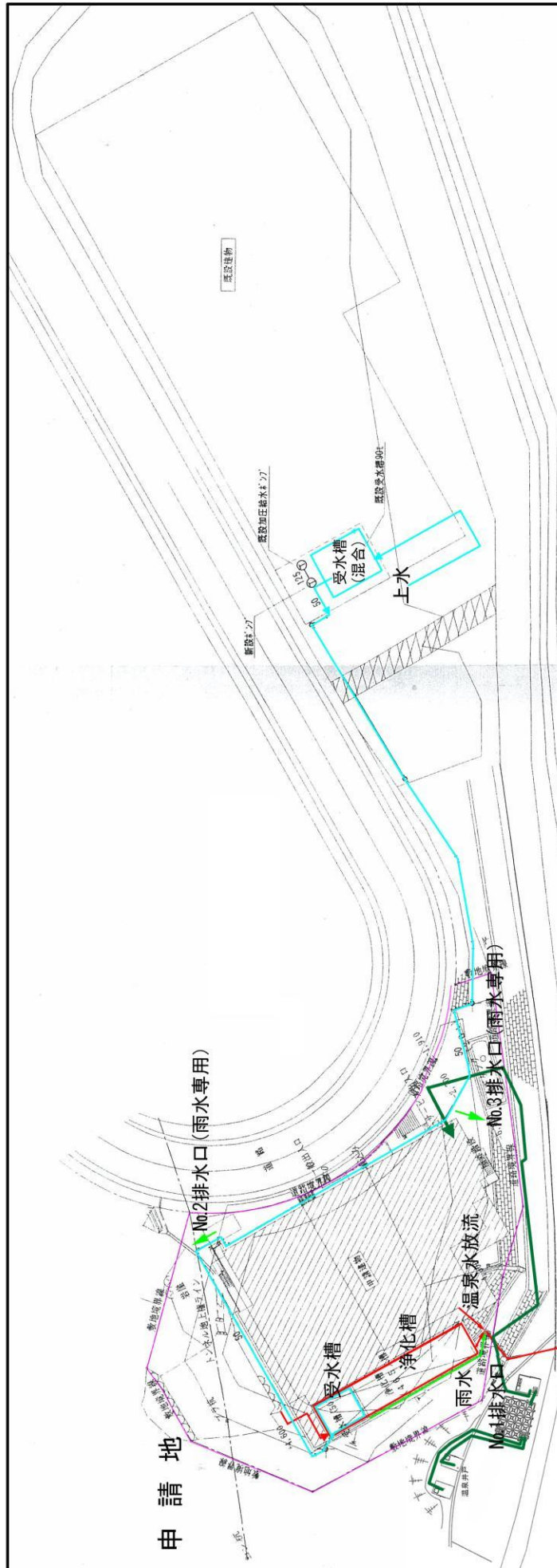
別図 1



全体敷地図

配置図

凡例	
	上水
	排水
	温泉水



申請地

瀨戸内海

国道186号線
歩道排水管 (VP 300φ)

別図 2

申請前後の汚濁負荷量は、次のとおり増加しないので、周辺公共用水域の範囲及びその決定の根拠は省略する。

排水口名	項目	申 請 前			申 請 後		
		排水量 (最大m ³ /日)	水質 (通常mg/l)	負荷量 (kg/日)	排水量 (最大m ³ /日)	水質 (通常mg/l)	負荷量 (kg/日)
No.1 排水口	BOD	291.7	8	2.33	291.7	8	2.33
	COD		12	3.50		12	3.50
	S S		15	4.38		15	4.38
	N		12	3.50		12	3.50
	P		1.5	0.44		1.5	0.44
	BOD						
	COD						
	S S						
	N						
	P						
	BOD						
	COD						
	S S						
	N						
	P						
	BOD						
	COD						
	S S						
	N						
	P						